

火薬類の保安

関東東北産業保安監督部
東北支部保安課

令和4年 火薬類事故(東北管内分)の発生状況について

令和4年に東北管内において火薬類取締法施行規則第82条第1項の規定に該当する詳報対象の事故が3件発生しました。

事故を種類別に見ると、産業火薬が1件、煙火が2件となっており、その概要は次表のとおりです。

■東北管内の事故情報

○令和4年火薬類事故の概要(東北管内分)

	発生日時	発生場所	種類	死	傷	事故概要
1	8月19日 12:44頃	岩手県 八幡平市	産業	0	3	火薬類廃棄許可を受けた火薬商の社員が、採石場内で爆薬の廃棄処理を行っていたところ、爆発し社員3名が負傷した。 火薬メーカー及び関係団体の有識者から、燃焼促進のために用いたライターオイルに関する意見があったが、爆発原因の特定には至らなかった。
2	9月4日 17:00頃	宮城県 加美町	煙火	0	1	猪除けの有害鳥獣駆逐用煙火を使用したところ、5連発発射した5発目が筒内で破裂し、保持していた右手中指を負傷した。 原因は専用手持ちホルダーを用いて使用しなければならないところ、使用せず直接右手で保持したことによるもの。
3	11月19日 17:40頃	宮城県 村田町	煙火	0	0	煙火消費中に4号玉が開発後、落下した星により付近の落葉等に着火し、付近の2箇所(27㎡及び12㎡)が延焼した。 原因は散水していない打上箇所周辺の落葉等に着火したことによるもの。

注)「死」は死亡事故、「傷」は重傷、軽傷の人数。